

けやき

R3. 12. 3 文責:吉本

一年生 集団宿泊！

・自分のよさを再認識 ・互いを尊重しあえた

た。(コロナ対策のため)「安心安全、思いやりの心を大切にし、互いに高め合う」のテーマのもと、二日間楽しみながら、お互いを高め合う教室となりました。

カッター船では波立つ海を、チームのみんなとタイミングと心を合わせ、船を前進させていきました。一人一人の頑張りが合わさって大きな力になることを実感できた体験活動でした。また、一日目の夜に、クラスミーティングを行いました。これは、クラスメイトが胸の内を話し、思いをしっかりと理解するものです。今まで気づけなかったクラスメイトの思いや悩みを知ること、互いを理解し、互いを尊重しあう気持ちが高まったようです。加えて、クラスの絆もさらに深まった時間となりました。今後の一年生一人一人の成長とさらなる活躍を楽しみにしています。



一学期に予定していた集団宿泊教室を十一月八・九日に実施しました

【学校教育目標】 夢実現に向け

友情と信頼で結ばれ 粘り強く 考動できる 生徒の育成

復興支援ボランティア！

甲佐中と

十一月十三日(土)に甲佐中の生徒の皆さんと一緒に、芦北町(女島)の仮設住宅で復興支援ボランティアを行いました。二校の力を合わせ、焼きそばをつくって提供したり、駄菓子屋を出したり、足湯温泉を開設したりしました。仮設にお住まいの方々は大変喜んでいらっしゃいました。(ライオンスクラブの協力を得て実施しました)



焼きそば作り...プロ並みの腕前



足湯 植木温泉



駄菓子屋さん 大盛況

生徒感想

佐敷中三年 勝田さん

私は「復興支援ボランティア活動」に参加して学んだことがたくさんあります。

まず一つ目は、人にしてあげるのではなく、自分のためにするということの大切さです。私は、当日、焼きそばづくりの担当をしたのですが、最初は人のためにつくるという気持ちの方が大きかったです。私に、「焼きそばをください」と言っていて、その場で食べてくださった老人の方がいました。食べ終えてから私に「ありがとう。おいしかったです。」と笑顔で言ってくださり、とても心に残りました。そのときに、人のためでもあるけれど、自分の笑顔のため、自分のためと思ってやった行動は、人に喜ばれ、自分の周囲の人にとっても役に立つんだと感じることができました。

二つめは、人と関わることの大切さです。今回は甲佐中学校の生徒のみなさんと交流しながらボランティア活動に参加しました。私は、極度の人見知りですので、最初は交流することが不安でした。でも、そんな私に甲佐中三年生が明るく話しかけてくれました。とても楽しく会話ができ、人見知りの私がこんなにすぐに仲良くなれたのは初めてです。焼きそばをつくっているときも、甲佐中の生徒や先生方が手伝ってくださり、たくさん話をすることができました。地域の方やライオンズクラブの方々と交流ができ、コミュニケーションを積極的にとっていくことの大切さを学ぶことができましたし、人と関わることで本当に楽しいことなんだと思いました。

三つめは、感謝することの大切さです。昨年の豪雨災害で佐敷中学校は被災し、たくさんの方々に助けていただき、感謝の気持ちをずっと持っていました。今回は、私たちが仮設住宅で暮らしている方を元氣・笑顔にさせようということでボランティアに参加して、改めて「人を助けよう」とすることが出来る人の力」はとても素晴らしいこと、とても大きいものだと感じさせてくれました。今回、被災した方をどのようにしたら元氣に、笑顔にさせられるのだろうかと私自身考えました。佐敷中が被災した直後、全国各地から手紙や支援物資を送っていただきました。そのような支援をしていただいた方は、私たちが元氣に、笑顔になってほしいと思いつつ届けてくれたんだと思ひ返しました。そんな人を思う力の大きさを実感しました。これまで支援していただいた方や甲佐中学校のみなさんへ感謝の気持ちしかありません。普段の生活で、授業中などでも、困った人がいたら助けるということは私自身当たり前だと思っていました。そんな気持ちを大事にしていきたいです。

中略

一日の体験でしたが、これで終了ではなく学んだことをどう生かすか、そのスタート地点にいると思っています。これからも頑張っていきたいです。